

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

地理歴史 科目 地理探究

教科：地理歴史

科目：地理探究

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 AB 組

教科担当者：（A組：谷口修太 （B組：谷口修太 ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（『新詳 地理探究』帝国書院 ）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	A 単元 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 【知識及び技能】 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・指導事項 第1章 結びつく世界 序節 地球環境と人間 1節 地形 2節 気候 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント揭示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
	B 単元 第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 【知識及び技能】 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・指導事項 第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食糧問題 3節 エネルギー資源活用 4節 資源・エネルギー問題 5節 工業 6節 第3次産業 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント揭示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	28
定期考査			○	○		1	

